

JIS

湿度—測定方法

JIS Z 8806 : 2001

平成13年4月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS Z 8806 : 1995は改正され、この規格に置き換えられる。

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36. 9. 1 改正：平成 13. 4. 20

官 報 公 示：平成 13. 4. 20

原案作成協力者：社団法人 日本計量器工業連合会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

湿度—測定方法

Z 8806 : 2001

Humidity—Measurement methods

序文 この規格は、湿度測定に当たり必ず(須)とする事項を関連のある国際規格と内外の国家規格及び国内の要請を参照しながら取りまとめたものである。測定技術及びその成果の活用は、日進月歩の渦中にあり、最近の標準技術の体系化並びに技術の高度化の寄与はかつ(刮)目されているので、その上にたつ広範な活用を図るため、関連規格との整合を図るとともに、既存の内容を整理し、改正を行った。

1. **適用範囲** この規格は、空気の湿度を測定する場合の主な方法について規定する。
2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS B 7920 湿度計—試験方法

JIS K 0211 分析化学用語(基礎部門)

JIS Z 8103 計測用語

JIS Z 8704 温度測定方法—電気的方法

JIS Z 8705 ガラス製温度計による温度測定方法

Guide to the expression of uncertainty in measurement (GUM) : First edition 1995, issued by BIPM, IEC, IFCC, ISO, IUPAC, IUPAP and OIML

3. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS Z 8103及びJIS B 7920によるほか、次による。ただし、湿度の表示及び単位に関する用語は、4.による。

- a) **空気** 地球を覆う大気の下層を構成する気体。水蒸気と酸素、窒素などとの混合気体である。
- b) **乾燥空気** 空気から水蒸気を除いた残りの気体で構成され、単一成分の理想気体とみなされる気体。
- c) **湿潤空気** 水蒸気と乾燥空気との混合気体。
- d) **飽和水蒸気圧** 水又は氷と、水蒸気とが共存して平衡状態にあるときの水蒸気の圧力。
- e) **感湿部** 湿度を検出する機能をもつセンサ又はその構成部位。
- f) **感湿素子** センサの一部位で、湿度を検出するそれ自身の機能が、全体の機能に本質的な意味をもつ検出端。

4. **湿度の表示・単位及び関係式** 湿度を表す量のうち、代表的なものを、記号及び単位とともに示す。

備考 この規格で用いる記号は、a)～i)で定義するもののほか、次による。

V : 湿潤空気の体積

T, t : 湿潤空気の温度

T : 湿潤空気の温度(絶対温度)

t : 湿潤空気の温度(セルシウス温度)

$t/^{\circ}\text{C} = T/\text{K} - 273.15$

p : 湿潤空気の圧力